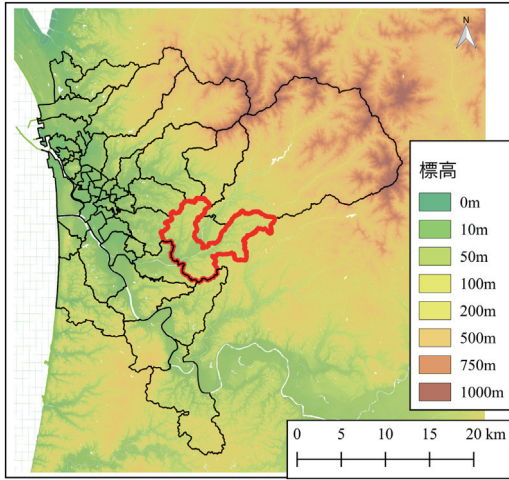


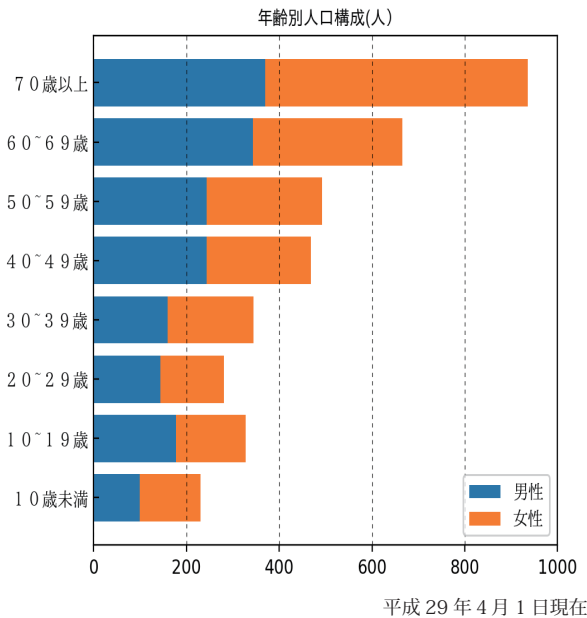
# 41：河辺小学校（旧河辺小学校）区

## 位置図



## 1 居住者の現況

人口	3,745 人
世帯数	1,510 世帯
65 歳以上人口	1,274 人
10 歳未満人口	230 人



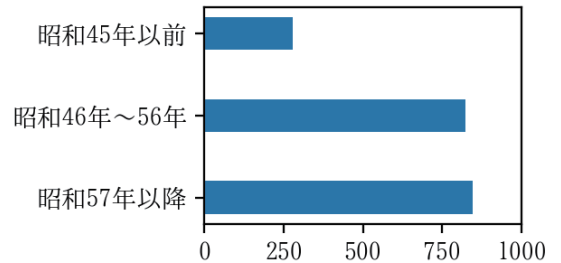
## 2 建物に関する指標

### ■ 構造別建物棟数(棟)

	棟
木造建物	1951
非木造建物	117

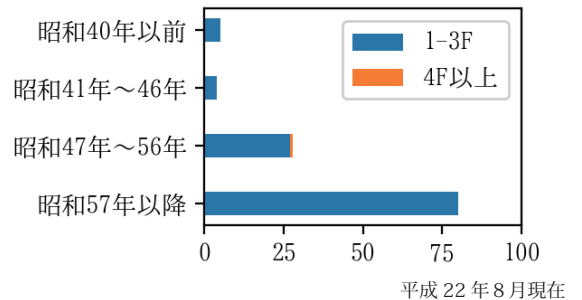
### ■ 建築年代別木造建物棟数(棟)

	棟
昭和57年以降	848
昭和46年～56年	825
昭和45年以前	278



### ■ 建築年代別非木造建物棟数(棟)

	1-3F	4F以上
昭和57年以降	80	0
昭和47年～56年	27	1
昭和41年～46年	4	0
昭和40年以前	5	0



## 自然的・社会的基盤指標

河辺地区の中心部と梵字川および神内川流域を含む区域である。急傾斜地等の危険区域が多く分布する。河辺地区の基幹的公共施設が JR 河辺駅周辺に多く位置する。集落は、岩見川周辺の低地および台地部に多く、梵字川沿いの低地部にも散在する。人口構成は、年齢者層が上がるほど比率が高く、65 歳以上の高齢者層は全体の 34% を占める。建築物の多くは木造建物であり、昭和 46 年以降の建築となっている。昭和 57 年以降の建築物は全体の 45% となっている。

### 3 自然災害に関する指標（平成29年3月現在）

#### ■ 洪水

指定河川	岩見川		
浸水面積 (%)	3.8		
最大浸水深 (m)	ランク4		

#### ■ 土砂災害

##### \* 土砂災害危険箇所

種別	箇所数	主な指定箇所
急傾斜地崩壊危険箇所	29	神内、上堂ヶ沢、雷谷地、岡村、宮崎、畑、黒沼、下和田、中和田、和田他
土石流危険渓流	19	へダ沢、奥出沢、岡村沢、宮崎沢、黒沼沢、山根沢、四園沢、式田沢 他
地すべり危険箇所	0	該当箇所なし
なだれ危険箇所	33	竹ノ子沢、北野田高屋字神田、高橋、雷谷地、和田字和田、式田、畑、高屋敷、太田面 他

##### \* 土砂災害警戒区域

種別	箇所数	主な指定箇所
土砂災害警戒区域	47	岡村沢、黒沼沢、前田沢1、小高沢、下和田、中和田、和田
うち土砂災害特別警戒区域をふくむもの		

#### ■ 地震および津波

##### \* 地震（どこにでも起こりうる直下の地震：M6.9）

平均震度	震度6弱	
(計測震度)	(5.71)	
震度6強以上となる面積 (%)	1	
液状化危険度ランク	4	
建物全壊率 (%)	3.6	

##### \* 津波（秋田県沖の地震でA,B,C領域が連動した場合）

浸水面積 (%)	(該当なし)
最大浸水深 (m)	(該当なし)

### 4 災害時要配慮者に関する指標（平成29年3月現在）

#### ■ 要支援者関連施設（収容施設のみ）

種別	施設数
高齢者支援	6
婦人幼児支援	0
障がい者等支援	0

#### ■ 幼稚園・保育所等

種別	施設数
保育所等	1
こども園	0
幼稚園	1

#### ■ 学童支援施設

種別	施設数
児童館等	1

#### ■ 学校等

種別	施設数
小学校	1
中学校	1
高等学校	0
大学・短大・高専	0
養護学校等	0

### 5 防火・防災施設に関する指標（平成29年3月現在）

#### ■ 消防関連施設

消火栓数（箇所）	141
防火水槽（箇所）	28
消防車台数（台）	10
消防ポンプ数（台）	20
消防団員数（人）	209

#### ■ 避難所／避難場所（別表参照）

災害種別	施設数
洪水	10
土砂災害	6
地震	10
津波	0
福祉避難所	1
津波避難ビル	0
津波警報サイレン	0

#### ■ 救急・防災関連施設

種別	名称／箇所数
管轄消防署	秋田南消防署
管轄警察署	秋田東警察署
病院・医院数（歯科を除く）	2
最寄りの救急告示病院	秋田赤十字病院
自主防災組織数	7

### 自然災害時の危険要素

岩見川の氾濫により、その左右岸の平地部で浸水するものと想定されている。一部では5m未満の浸水となる。そのほか、梵字川や神内川、およびその支川では突発的な豪雨などにより氾濫する可能性も否定できないので、注意が必要である。

山地部と平地部の境界付近に集落が位置している場合も多いことから土砂災害の危険性が高い箇所が多い。そのうち47箇所（急傾斜28箇所、土石流19箇所）が警戒区域等に指定を受けている。

地震動として全域に互りほぼ同程度の揺れやすさとなっている。低地部では液状化の危険性が高い。津波による浸水の恐れは想定されていない。

### 防災上の課題と対策

河辺小学校校区は、岩見川中流域の河辺中心市街および梵字川・神内川に沿って点在する集落からなる。

建物の半数以上は旧耐震建築物である。

梵字川・神内川流域では、急傾斜地等の土砂災害の危険性

の高い箇所も多い。  
指定避難所や緊急時一時避難場所は、河辺中心市街の JR 和田駅周辺に位置していることから、避難施設まで遠距離となる施設や集落もある。これらの集落では、地域内の協同・相互補助の意識は高いと見られるものの、集落単位で一時的な避難の方法や避難場所について地域避難計画とし

て検討し、訓練などによってその実効性を確認するなどの防災活動の展開が望まれる。

■ 避難所・避難場所

施設	指定避難所	緊急避難場所					収容人員
		災害の種類（○のみ利用可）					
		洪水	がけ崩れ/ 土石流	地震	津波	大規模火災	
河辺小学校グラウンド	x	○	x	○	x	x	8,330 人
河辺小学校（体育館）	○	○	x	○	x	x	341 人
河辺中学校グラウンド	x	○	x	○	x	x	24,080 人
河辺中学校（体育館）	○	○	x	○	x	x	562 人
河辺体育館駐車場	x	○	○	○	x	x	2,620 人
河辺体育館	○	○	○	○	x	x	336 人
河辺総合福祉交流センター 駐車場	x	○	○	○	x	x	7,350 人
河辺総合福祉交流センター	○	○	○	○	x	x	703 人
河辺市民サービスセンター	○	○	○	○	x	x	186 人
和田駅前駐車場	x	○	○	○	x	x	2,140 人

福祉避難所

施設	所在地	電話番号
特別養護老人ホーム 河辺荘	河辺大張野字水口沢 216	018-882-3516

津波避難ビル

施設	所在地	利用可能範囲	収容人員
(該当なし)			

津波警報サイレン

施設	所在地
(該当なし)	

